

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	RAINBOW名東一社クラブ		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見を把握する機会があり、その内容を業務改善につなげることができていること。	管理者が話しやすいような環境を整備しており、日々活発な意見交換が行われている。	特定の職員だけでなく、たくさんの職員が意見を伝えられるような取り組みをしていく。
2	活動プログラムを職員間で話し合い、利用児が楽しく活動できるよう創意工夫をもって作成していること。	日々の活動プログラムの参加率や特性にあったものであるかを考え、次のプログラム策定時に活かせるよう工夫をしている。	職員にとって運営がしやすいという観点ではなく、利用児に必要な支援であるかという観点で色々なプログラムを策定していけるとな一層よい。
3	日々の支援の記録を取ることを徹底し、支援の改善につなげていること。	忘れないようにその都度クラウドにて記録をとっており、改めて見返したときに状況を把握しやすい。	記録を取ることに必死になるあまり目の前の支援がおろそかになりそうな場面があるため、職員間で声かけをしながら記録時も支援が手薄にならないようにしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動毎に部屋が分かれていないので、利用児にとって気持ちを切り替えやすい空間設定とはいえないこと。	学習、おやつ、活動、帰りの会すべてが指導訓練室(一部、学習室を利用)で行われるため、特性によっては今は何の時間かを把握するのが難しいため。	全ての利用児が過ごしやすよう視覚化や情報伝達方法の一元化を進めていく。常にトライアンドエラーを繰り返し、よりよい空間づくりを目指す。
2	保護者との十分な交流機会の提供ができていないこと。	常日頃、保護者(同士)との交流の場を提供したいと考えているものの、そのタイミングや場所の問題・保護者のお考えについても種々なため、なかなか実現にいたっていないもの。	保護者の意思を第一優先にしながら、日頃抱えているお悩みや相談事を自由に意見交換できる場所を今後とも提供できるように努力していく。
3			